

日本バウハウス協会  
講演 (オンライン)  
2023年6月15日(木)  
16:00-17:10



# 松村 秀一

## グロピウスが見た 住宅産業の夢

バウハウス初代校長ワルター・グロピウスは、1910年、わずか26歳の時に、当時の大企業 AEG の経営者エミール・ラテナウ宛に「美的統一原理に基づく住宅供給企業の設立企画書」と題された長文の企画書を提出している。それ以来グロピウスは、1946年に、20世紀を代表する建築エンジニア、コンラッド・ワックスマンとアメリカで住宅メーカーを設立するまでの間、20世紀的な全く新しい住宅の造り方を夢見、行動してきた。バウハウスの中でのグロピウスの言動もこの夢と繋がっている。そして、その中で示されたグロピウスの考えは、同時代の日本にも大きな影響を与え、それは今日世界でも稀な発展を見せた日本の住宅メーカーの存在にすら繋がっている。

講師 松村 秀一 (まつむら しゅういち)

早稲田大学理工学術院総合研究所上級研究員・研究院教授。専門は建築構法・建築生産。

1957年神戸市生まれ。1980年東京大学建築学科卒業。1985年東京大学大学院博士課程修了。工学博士。

1986年より東京大学講師、助教授、教授、特任教授を経て2023年より現職。日本建築学会元副会長。

現在、HEAD研究会代表理事、建築技術支援協会代表理事、団地再生支援協会会長も務める。

日本建築学会賞(論文、2005年)、都市住宅学会賞(著作、2008年、15年、16年)、日本建築学会著作賞(2015年)等受賞多数。

主な著書に「新・建築職人論」(学芸出版社)、「和室礼讃」(晶文社)、「建築の明日へ」(平凡社新書)、「和室学」(平凡社)、「Open Architecture for the People – Housing Development in Post-War Japan」(Routledge)、「空き家を活かすー空間資源大国ニッポンの知恵」(朝日新書)、「ひらかれる建築ー『民主化』の作法」(ちくま新書)、「建築ー新しい仕事のかたち 箱の産業から場の産業へ」(彰国社)、「箱の産業」(彰国社)、「『住宅』という考え方」(東京大学出版会)など。

主催 日本バウハウス協会 (お問い合わせ) <http://nipponbauhaus.jp>  
講演は無料 (オンライン)

講演申し込みは2次元コードまたは下記 URL

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_DPyBueOrQaWHEXjdbS8WaQ](https://zoom.us/webinar/register/WN_DPyBueOrQaWHEXjdbS8WaQ)

